

『産業活性化に向け農業クラブが貢献できること』

近畿ブロック 兵庫県立但馬農高等学校

農業科	2年	石谷	恵資
農業科	2年	宿南	麻美
農業科	2年	堀井	未夢
畜産科	2年	松原	玲奈

1 はじめに

(1) 兵庫県の農業

兵庫県は、北は日本海、南は瀬戸内海に面し、中央部には中国山地が横断しています。厳寒、降雪、乾燥、温暖という多様な気象条件がみられ、変化に富んだ自然環境が特徴的です。

農産物においては、山田錦（酒米）、丹波黒（黒大豆）はいずれも生産量全国1位、たまねぎ、いちじく、カーネーションも上位を占めます。また、神戸ビーフは全国的にも有名なブランドとして知られており、季候・風土、地域に根ざした多彩な農業が営まれ、産地が形成されていると言えます。

農家のようにみると、総農家戸数は80,000戸を超え、全国3位を誇るものの、兼業農家が67%と全国の54%を上回ります。また、農業就業人口のうち、65歳以上が73%を占め、販売農家の平均年齢は68.9歳と高く、全国的に課題となっている高齢化の進行は、兵庫県においても同様の状況と言えます。

(2) 近畿ブロックについて

近畿ブロックは大阪府（5クラブ1,347名）、京都府（10クラブ1,064名）、滋賀県（4クラブ1,250名）、奈良県（6クラブ736名）、和歌山県（4クラブ584名）、兵庫県（11クラブ2,785名）の6つの府県連盟で構成されており、合計7,767名のクラブ員が所属しています。今年度は、近畿連盟事務局を兵庫県（但馬農業高校）、大阪府連が全国大会の事務局を担当しています。

(3) 兵庫県学校農業クラブ連盟

兵庫県連盟は、図に示した11校で構成されており、各単位クラブでは、地域に根ざした積極的な農業クラブ活動が展開されています。「日本の縮図」とも言われる兵庫県では、栽培されている農産物はもちろんのこと、地域農業が抱える問題や農業を取り巻く文化や風土も多種多様であり、プロジェクト活動で取り上げられるテーマはバラエティに富んでおり、興味深いものばかりです。

今年度の事務局は、私たち兵庫県立但馬農業高等学校です。近畿連盟の事務局運営に加え、全国大会が大阪開催ということもあり、まさに「農クイヤー」とも言うべき日々を過ごしています。



兵庫県連盟では、①クラブ員相互の交流を深めること。②農業高校生としての視野を広げること。③日頃の学習・活動の成果を発表すること。④リーダーとしての資質を養うこと等を主な目的として以下のような事業を展開しています。

5月	第1回理事会 評議員会	11月	新しい農業をめざす高校生等のつどい
6月	リーダー講習会 クラブ活動発表 第2回理事会	2月	研究集録発行 第3回理事会
7月	兵庫県連盟大会 年次総会	3月	事務局引継

行事を1つ終わるごとに学校間の親睦が深まり、兵庫が1つになっていくのを感じることができます。また、行事の運営に携わる事務局のメンバーも少しずつ成長していくのを感じることができます。

2 産業の活性化と農業クラブ活動

(1) 各校の取組（リーダー講習会での協議から）

平成28年6月9日に開催した「リーダー講習会」では、以下に示すとおり、5つの分科会を設置し、協議や体験活動をおこないました。

第1分科会：第2回理事会（発表順抽選、ポスターの決定等）
第2分科会：「とことん話そう!!～農業クラブの活性化に向けて～」
第3分科会：「とことん学ぼう!!自然環境～川の生きもの調査～」
第4分科会：「とことん学ぼう!!伝統文化～豊岡杞柳細工体験～」
第5分科会：「とことん学ぼう!!魅力的な伝え方～ポップづくり～」



第2分科会においては、この分科会のテーマである『産業活性化に向け農業クラブが貢献できること』を協議テーマの1つに据え、各校単位クラブの取組について意見交換をし、農業クラブが地域産業の活性化に向けてどのように貢献できるのかについて検討しました。その内容を次項「表：農業クラブの取組と産業の活性化」にまとめました。

各単位クラブでは、地域と積極的に結びついた取組が数多く見られました。それらを大きな枠組みで捉えると、次のようにまとめることができます。

【プロジェクト活動の充実】

そもそもプロジェクト活動は、地域農業・地域産業が研究対象となっており、プロジェクト活動を一層充実させることは、産業の活性化につながると考えられます。特に、「産・官・学」三者連携による研究は、地域産業のカンフル剤になると思われま

【PR活動】

農業クラブは、発信力のある組織だと思います。Web ページや機関誌を活用し、地域農業や観光資源について高校生の目線からPR できれば、面白い取組になると思います。

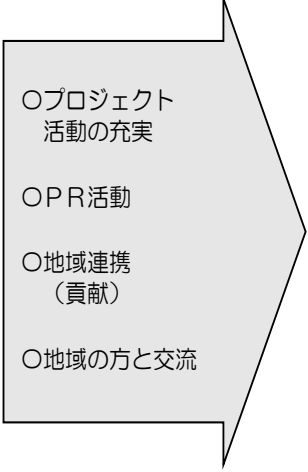
【地域連携】（交流活動）

地域の方々との結びつきは、「地域の元気」につながると思います。地域や行政が主催するイベントに積極的に参加したり、新しいイベントを企画したりして、「元気な地域作り」に貢献できるものと考えます。

以上のような取組は、地域農業や商業、観光の活性化につながっているものと考えまし

た。各校の取組を今後、さらに充実させることが、産業活性化に向けて農業クラブが貢献できることなのだと思います。

表:農業クラブの取組と産業の活性化

単位クラブの取組		産業発展のとらえ方	
<ul style="list-style-type: none"> ○地域の方と一緒に農作業（幼稚園児・小学生） ○地域産業（農業）のPR活動 ○農家見学→校内で各農家の情報共有 			
<ul style="list-style-type: none"> ○地域の特産物を対象とした研究 ○大学や企業、学校が一体となって地域の課題を解決 ○商品開発＝高校発信のブランド ○地域の企業と共同開発（新しさ・珍しさ）＝付加価値 ※1 ○食農甲子園、※2 農林漁業祭への積極的な参加 ※3 ○「バル」を企画してみてもどうか!? 			<ul style="list-style-type: none"> ○地域農業の活性化 ○商業コラボ(刺激) ○観光業の活性化
<ul style="list-style-type: none"> ○地域の観光イベントに参加して盛り上げる ○駅前の装飾（花壇の植え付け） 			

※1:食農甲子園…県下の農業高校(11校)と水産高校(1校)が神戸元町商店街に集合し、日頃の学習成果の発表として、各校の農産物や加工品を販売したり、各種の展示や演習をおこなう。

※2:農林漁業祭…「兵庫県の農林水産業を見る・食べる・体験する」をコンセプトに開催されるイベントで、兵庫県内の生産者はもとより、多様な団体が出店する。県下の農業高校もこのイベントに出店します。

※3:バル…もとは、スペインの日常的な社交の場である酒場「BAR」にヒントを得たイベント。最近では、町おこしの一環として、「街角バル」などと銘打ったイベントが見られるようになっている。

(2) 新しい農業を目指す高校生等のつどい

兵庫県連盟の事業で「産業の活性化」との関わりが深いと思われるものをもう1つ紹介したいと思います。本年度で51回目を数える「新しい農業をめざす高校生等のつどい」です。この事業は、兵庫県（農政環境部、農業改良普及センター、農林水産技術総合センター、農業大学校）、兵庫県教育委員会、公益社団法人兵庫みどり公社、兵庫県学校農業クラブ連盟が合同で主催する事業です。「**就農をめざす農業高校生や農業大学校生が、第一線において活躍している先輩農業者等の講演や語らいを通じて、就農への理解と意欲を高めるとともに、同じ農業を志す仲間としての連帯感を養い、兵庫の新しい農業の担い手としての誇りと自覚を高める。**」ことを目的としています。例年、各校からは、将来の新規就農を目指す生徒はもちろん、農学系の進学を考える生徒や雇用就農を考えている生徒など、様々なビジョンを持った生徒が参加します。午前中の日程では、事務局校の所在地域で活躍されている先輩農業者に講演をいただき、就農のきっかけや苦労話、農の面白さ等についてアツク、興味深いお話をうかがうことができます。午後には、5～6の分科会に分かれて先輩農業者と語らいます。具体的で、リアリティのある「現場の農業」に関する意見交換をおこないます。

このような事業への参加は、就農への夢を具体化する機会になるとともに、地域の農業

を理解し、「農」のすそ野を広げます。このことは、地域農業の活性化に貢献していると考えられるのではないのでしょうか。今後も、兵庫県連盟として関係機関と連携を強化し、貴重な語らいの場を守り、事業を続けていきたいと思えます。

(3) プロジェクト活動の充実

2-(1)では、産業の活性化に貢献できることとして、プロジェクト活動の充実をあげました。最後に、地域産業と結びついた本校のプロジェクト活動の事例を紹介します。

① WCS（ホルホッフサイレンジ）の利用促進に関する研究

WCSの給与による肉牛の品質向上とコスト削減による経営安定化の研究。養父市内の耕作放棄地の有効活用によるWCSの生産を提案。



地域の畜産の活性化と中山間地域が抱える耕作放棄地の課題を解決



② ポット育苗による稲作

ポット育苗による「コウノトリ育む農法」の検証。省力化と生物多様性の確保について研究。地元農家と協力し、農法の普及を図る。



地域の稲作の活性化とコウノトリとの共生社会の構築



③ 伝統工芸「杞柳細工」の普及活動

国の伝統工芸品に指定されている豊岡杞柳細工の普及に関する研究。原材料の校内生産や草木染めによる付加価値の向上を模索。



地域の伝統産業の活性化と伝統技術の普及・伝承



3 まとめ

産業活性化に向け兵庫県連盟（農業クラブ）が貢献できることとして、次の2点をまとめたいと思えます。

○農業クラブの活動が、すでに産業の活性化につながっている。

これまでの活動を発展させ、継続していく努力が必要だと思えます。農業クラブ活動は、私たち自身を成長させてくれるとともに、地域産業の活性化にもつながるのだという喜びと責任感を胸に、今後も様々な活動に取り組みます！

○積極的に地域産業と関わり、農業クラブ活動の充実が産業の活性化につながる。

プロジェクト活動をはじめとする研究活動では、地域の問題に意識的に目を向け、「地域産業の発展に貢献しよう！」という姿勢で取り組みます。産官学、異校種、学校間等、様々な連携によって、新しいアイデアが生まれ、研究が深まれば、地域産業を刺激し、活性化につながると考えます。

以上の2点を心にきざみ、今後も農業クラブ活動に邁進し、兵庫を盛り上げます！